

■ 台風等暴風発生時の対応

前日周知・メールによる緊急通報やWeb活用

1 最新気象情報の確認
(山口県土木防災情報システムWebページを活用)

2 管理職等の緊急協議

3 校長（責任者）の指示事項 及び 対応の情報共有

■ 基本的な対応

警報等	授業	対 応
<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>台風接近</u> ・ <u>暴風警報</u> ・ <u>竜巻注意情報</u> 	中止	①休校の連絡は、前日に行う。 天候が急変した場合など、朝6：00の段階で暴風警報等の発令の際は、休校とし、緊急連絡する。
	実施	①すぐに暴風警報等が解除され、午前・午後に、授業を開始できる状況であれば、自宅待機とする。 ②教職員が安全確認の後、授業実施を連絡する。 ③教職員・見守り隊(スクールガード)等で安全を確保する。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大雨・洪水警報 ・ 強風注意報 ・ 大雨・洪水注意報 	実施	①各家庭が安全に登校できることを確認し、登校する。 ②通学路の状況等により、安全な登校が心配な場合、担任に連絡し、自宅待機後、状況を見て登校する。

- 台風の際は、前日に、休校・自宅待機等の方針を幼児児童生徒に周知する。
- 自宅待機後に登校する可能性がある場合は、緊急連絡の時間・方法等について、予め周知しておく。

在 即時校対応

3 校長（責任者）の指示事項 及び 対応の情報共有

- 気象情報に基づき、今後の見通しも踏まえ、対応を決定する。

警報等	授業	対 応
<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>台風接近</u> ・ <u>暴風警報</u> ・ <u>竜巻注意情報</u> 	中止	①担当者は、気象情報や交通状況を定期的に確認する。 ②教職員が安全を確認し下校する。下校は集団下校とする。 ③安全な下校が困難と判断される場合、学校で待機させる。 天候により、保護者に連絡し、迎えを依頼する。 ④必要に応じ、担任等が帰宅確認をする。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大雨・洪水警報 ・ 強風注意報 ・ 大雨・洪水注意報 	平常	①原則は、平常授業とする。 ②これまでの降雨量や今後の気象予報、地域の実情に応じて、注意報段階での下校も検討する。

- 保護者の迎え等については、連絡方法や保護者への引継方法を共通理解しておく。

留 意 点

- メールによる緊急通報システムや、学校Webページの緊急通信欄等を整備しておく。
- 風雨が小康状態となっても、土砂災害等の二次災害の危険があり、慎重に対応する。
- 公共交通機関の運休等により、登校ができない場合、欠席にはならないことを周知し、安全第一に行動するよう指導しておく。
- 被害防止のため、強風による転倒や移動の可能性がある物の固定、ドアの開閉や窓ガラスの飛散防止などに取り組む。
- 竜巻は、何処でも起こる可能性がある。「竜巻注意情報」が発令された場合、速やかに児童等に知らせる。空が急に真っ暗になる、大粒の雨が降り出す、雷が発生するなど積乱雲が近づいた場合、頑丈な建物の中に入り、ガラス窓から離れ、安全を確保する。